

エンカウンター（ENCOUNTER）

第 70 号

平成 20 年 2 月 20 日

編集・発行人 〒224-0015 横浜市都筑区牛久保西 2-14-28 山口周三

電話 045-912-1960

バジレア・シュリンク

「愛のまなざし 神の子の日ごとのよりどころ」より（3）

4 月 26 日

御父の心はただ一人の魂もお見捨てになりません。なぜなら、それは御自身の本質に反することだからです。父なる神の心は永遠であり、ただ愛のみです。ですからあらゆる苦境、罪との戦い、誘惑の中で確かなことが一つあります。それは父なる神の心があなたを見捨てられないことです。

神はいつも愛をもってあなたを助け、あなたを正しい道へと導くために心を配られます。神はあなたの道を成し遂げられます。

4月28日

あなたは、自分の人生における困難や罪を変えられないものとしてあきらめてはいませんか。そうであるなら、あなたの困難な状況は変わらないでしょう。

今日も奇跡をなし、いつも助けることができになる神を考慮に入れるときに初めて、何かが変わるのです。あなたが不可能に直面したとき、信仰をもって神の全能をたたえ、祈りの中で神の約束を語り、それを支払うべき借用書として神の前に差し出すのです。するとあなたは、神の奇跡や助けを体験し、自分の人生や他の人の心、また人間関係が変えられていくことに気づくでしょう。

4月29日

あなたは、どうすればいち早く苦しみから抜け出せるかと尋ねます。そのような質問があなたの第1の心配となっははいけません。最も重要なことは、この道が実をもたらすようにと今まさに苦しみを正しく受けることです。そうすればあなたのすべての困難は無駄にはなりません。

忍耐をもって苦しみ、神の力強い御手の下で自分を低くしなさい。あなたの苦しみに対して正しい態度をとろうとすれば、すべての誤った心配はなくなるでしょう。そしてあなたは自分の苦しみに輝かしい勝利を収めるでしょう。とこしえに実がむすばれます。

5月7日

あなたは、自分の人生で最も暗い時が訪れたと思っています。その時こそ、あなたにとって試練の時、すなわち最も重要で決定的なときであることを知りなさい。父なる神があなたを試しておられます。あなたが暗闇の只中で神を信頼するかどうかを。

今、ただこの一言を語りなさい。「お父様、私にはあなたが分かりません。しかし、あなたを信頼します」と。そうすれば、あなたは試練に打ち勝つでしょう。そして、いつまでも絶えることのない偉大な業があなたの身に起こるのです。

5月8日

詩編の作者は祈ります。「私の力の神よ、急いで私を助けてください」(詩編 22・20)と。神の御霊は彼にこのように祈らせませす。神は私たちを助けるために、本当にお急ぎになるからです。神は父として、ご自分の子が苦境にある時に急いでやって来られます。あなたが苦境の時に神を呼び求めれば、神はあなたのところに急いでやって来られます。しかし、あなたは神を本当に呼び求めていますか。御父に信頼をもって呼び求めるなら、人生のすべての煩わしさ、心配や困難は解決されるのです。

自分の苦境を思い巡らしてはいけません。むしろその時こそ直ちに神に向かって叫びましょう。そうすれば答えが得られます。

5月15日

父なる神は、ご自分の独り子に子羊の道を歩むようにと定められました。イエスは子羊のようにほふり場に引かれ、ののしられても
ののしり返さず、苦しめられても人を脅かされませんでした。(ペテロ 2・23)

今、神はご自分の子らの内に子羊のその姿を探しておられます。

あなたの人生において絶えず子羊の道を選びなさい。そうすればあなたは自分の切望する権威を得るでしょう。神の愛は、それをあなたにお与えになるでしょう。それは子羊の道を歩む者に約束されています。

5月17日

あなたは、神がどのようにあなたの困難を解決して下さるかを知りません。神はそれを前もってあなたに語ることはなさらないでしょう。「どのように」をあなたは知る必要がないのです。しかし一つのことには確かです。それは父なる神があなたの困難を解決して下さるということです。これを知るだけであなたには十分です。

必ず助けを与えられる神の愛をたたえなさい。そうすればあなたは慰められます。

5月19日

あなたは闇と苦しみの中で途方に暮れています。あなたには行く道が一つも見えません。あなたを愛する御父は、苦境の中にいるあなたを御覧になり、こう呼びかけておられます。「あなたが闇の中にいるとき、私はあなたの光となろう。あなたが苦しみの中にいるとき、私はあなたの慰めとなろう。あなたに助けがないとき、私はあなたの助け主となろう。あなたが途方に暮れているとき、私があなたの助言者となろう」と。

神の声を聞きなさい。そうすれば、あなたの心に平安が訪れるでしょう。

5月21日

神は、この地上で暗闇に生きなければならないご自分の子らのことを、永遠より愛と配慮を持って覚えておられます、神は彼らのために慰めと助けを御言葉の中に備えられました。そうして神は「主の御名を呼ぶ者は皆、救われる」(ヨエル 3・5)と語られたのです。ですから今、御名を呼びなさい。そうすればあなたは慰められ、苦境の時にこの御言葉の実現を体験するでしょう。

5月25日

あなたは創造の美を見、神がどんな花もどんな小さな動物もいかにそれぞれが異なり、みごとに創造されたかを見ます。しかし創造界のすべての栄光より神にとって何千倍も価値ある者は人間です。

神は人間を御自分の姿に似せて造られました。神は人間を御自分の子らと呼び、彼らのために独り子を死に引き渡されました。ですからあなたは神の目に値(あたい)高く尊い者なのです。どんな試練にあっても、これを知ることはあなたの慰めとなるでしょう。まさに、あなたは愛されています。

6月2日

あなたは「艱難は栄光をもたらす」(コリント4:17)という聖書の御言葉がなぜあなたに実現しないのか、疑問に思っています。あなたは苦しみの中で慰めがなく、神の愛の栄光の光が心に届きません。しかし、愛なる御父は苦しみの中であなたが慰められるように道を備えておられます。

御父はあなたにこう語られます。「あなたの十字架を奴隷のようにむりに背負うのではなく、イエスへの愛ゆえ、御父の愛を信頼してそれを背負いなさい。そうすれば、あなたの十字架は輝き始めるでしょう。あなたは幸福になり、御父の愛に光り輝くでしょう。

6月3日

あなたは、孤独、面倒、不可能、病気といった人生の砂漠をどうしたら乗り越えられるかと心配しています。しかし神は、私たちがそのような道を通らなければならないときでも何の心配もしておられません。

神はあなたに次のように言っておられます。「あなたが砂漠にいるなら、私は父であることを示し、かつてのように飢餓の時にうずらとマナを与えよう。暗い道にあっては今日もわたしは、雲と火の柱をもって導き、道をひらく。わたしは自分の臨在をもってあなたに慰めと潤いをもたらす。それはあなたにとって十分ではないか。」

6月6日

あなたは父なる神を知りたいと願っています。私たちの主イエス・キリストはあなたを父なる神のところに導きたいと望んでおられます。しかしイエスが連れて行けるのは、神の御子として先に御自分が歩まれた道を歩む者だけです。それは十字架の道です。貧しさ、へりくだり、従順、さげすみの道です。その道は今なお神の国、父の家へと至る道です。

この道を歩みなさい。そうすれば、あなたは父なる神とその愛を知るでしょう。父なる神はイエスの道を歩む人に心を開かれます。

6月8日

あなたは悲しんでいます。なぜですか。あなたは神の内ではなく、自分のために生きているからです。神のご臨在の中に生きることが大切なのです。このことを意識しなければなりません。神はそこにおられます。あなたは一時（ひととき）も一人ではありません。神はあなたを囲み、あなたを御覧になり、あなたと共にすべてを担われます。神はあなたを助けてくださいます。

どんな時にも神はおられるという確信のうちに生きなさい。神の御臨在をおぼえれば、すべてが変化します。そして、あなたの悲しみは消え去ります。

6月9日

神は私たちの内に住みたいと願っておられます。神の愛は、私たちの心の中に御自分の住みかを求めておられます。しかし、私たちは神を愛さなければなりません。そうでなければ神は私たちのところに来られません。それゆえに、神と隣人に対する愛を絶えず新たに願い求め、それを実行するべきです。

愛は神を私たちに引き寄せます。神が私たちの心を住みかとされることほど大きな恵みがあるでしょうか。

6月13日

神が与えられる最大の贈り物とは何でしょう。御自身と、まさに御自身そのものである愛です。神はこの愛を独り占めなさらず、私たちにも分け与えようとしておられます。そのために神はイエスを遣わされ、愛そのものであられるイエスは人となって、愛することができるよう私たちを贖い、愛をこの世に持って来られました。

恵みの源である神の心から愛を汲み取れば、私たちは愛という地上と永遠に及ぶ最大の幸福を獲得します。愛することほど私たちを幸福にしてくれるものはありません。

6月16日

罪深い人の子らに対する父なる神の御手のわざを御覧なさい。父の御手は父に近づき、深く悔いて「わたしは天に対しても、またお父さんに対しても罪を犯しました」と語る放蕩息子のような人々に義の衣を着せ、最も高価で聖なる愛の指輪をはめます。

あなたの過ちと罪があなたを悲しませる時、父の御手に委ねなさい。そうすれば心の痛みが和らぎ、あなたは限りなく恵みを受けるでしょう。

6月21日

自分の能力のなさや貧しさを味わうときこそ、祈りによって父の愛を引き寄せせる瞬間です。私たちがそのことを信じますように。まさにその時神が憐れみを私たちに与え、驚くべき御業と奇跡、助けと恵みとを示し、私たちの上に愛を注いで下さるのです。こうした瞬間を生かしましょう。それは父なる神の愛と助けとを今まで以上に体験できる機会なのです。

6月22日

あなたは恐らく、愛なる神があなたに重い十字架を負わせたことに不平を言っているかも知れません。天のお父さまはあなたに答えておられます。

「あなたの十字架は背負いきれないほど重くはない。もしあなたの十字架が重いならば、その中に隠されている祝福も重いのだ。だからあなたに思い十字架を背負わせるのは、私の愛ゆえと知れ。それは私の愛する者たちへの贈り物、特別な祝福のためである。十字架に隠されている祝福を信じ、あなたの十字架の宝を持ち上げよ。」

6月24日

神の心は愛に満ちています。それゆえ、神は私たちに小さな子供するように慰めの言葉をかけられます。「もしあなたが地の果てや死の淵にいても、見よ、私はあなたを助け、あなたを守り、支え抜くために共にいる」と。

だからこう答えましょう。「はい、主よ、あなたはすべてです。あなたと共にいる者はすべてが満たされます。たとえ死に捕らえられても。」

6月26日

あなたは元気をなくして絶望しています。罪が鎖のようにあなたを縛り、あなたは囚人のようです。しかし父なる神はあなたを愛しておられます。神は御自分の子らを牢獄に置いたままではいられません。神はそこから抜け出す扉を備えておられます。それは悔い改めという扉です。

悔い改めに満ちた罪人にはイエスの血潮による赦しが与えられます。そして赦しは、あなた自身とあなたの人生そのものを新しくします。悔い改めには罪によって破壊したものすら、さかのぼって新しくする創造の力が備わっているのです。

6月28日

神は愛の父です。愛の本質は人をいたわることです。ですから、あなたの身にふりかかり、あなたを悩ます、すべての心配事を御父にゆだねなさい。前もって心配したり、策を練ってはなりません。あなたは子なのだから、いずれにしても解決できるはずがありません。

神は全智、全能、全知であります。神があなたに期待しておられることはただ一つです。それはあなたが日ごとの小さな務めに心を配り、それ以上のことについては神の御計画にゆだねることです。

神の計らいは驚くべきもので、大いなることを成し遂げられます。

6月29日

あなたは神に愛を示したいと思っていますが、どうしたらよいのかわかりません。

神にあなたの意志をささげなさい。それは神にすべてをささげるということです。

神があなたを導かれる道を選びなさい。

神があなたに与えられるもの、あなたから取り去られるものを選びなさい。

あなたの願望や欲望のすべてを神にささげなさい。そうすれば、あなたはすべてにまして神を愛していることを示したことになります。神はあなたの愛にこたえ、あなたのところに来て共に住まわれるでしょう。(ヨハネ 14・23)